

2023年度 環境経営レポート

(対象期間：2023年7月1日 ～ 2024年6月30日)



発行日：2024年 9月 1日
改定日：2024年 11月1日

目 次

		ページ数
1	ご挨拶	2
2	経営理念と環境経営方針	3
3	組織の概要	4
4	認証・登録の対象組織・活動	4
5	事業や製品(商品)の紹介	4
6	環境経営組織図及び役割・責任・権限	5
7	環境経営目標（2022年度～2024年度）	6
8	主な環境負荷の実績（2020年度～2022年度）	6
9	環境経営目標及びその実績	7
10	環境経営計画の取組結果とその評価、並びに次年度の取組	8～12
11	環境関連法規等の遵守状況の確認及び 評価の結果、並びに違反、訴訟の有無	13
12	緊急事態対応訓練の実施	14
13	代表者による全体の評価と見直し・指示	15
14	今年度の奥野組の取り組みと紹介	15～17

1. ご挨拶

2024年1月1日能登半島を中心に大きな地震が発生いたしました。自然災害による脅威は日本全国にかかわらず、世界中に大きな影響を与えております。特にサプライチェーンは地球規模に広がり、2020年から発生したコロナウイルス禍による影響は人間の接触を避け不安を増し、軍事侵攻による影響は資源供給バランスを崩し、物価を押し上げています。

当社は、1946年創業以来、地域の皆様のご支援の下、主に道路、河川などの公共インフラに関わる工事を請け負ってきました。日本の少子高齢化の影響は人手不足が慢性化し、施工スピードにも影響が出ています。平成30年西日本豪雨による真備町の水害復旧工事も一応の終了し地場の土木工事の市場は縮小に向かいます。

2023年度の経営方針である建設現場における無事故無災害を達成し、引き続き高品質な施工と管理を認められ国土交通省中国地方整備局の工事評価点80点以上を獲得することができました。また、健康経営においては働き方改革に積極的に取り組み、ストレスチェックや健康相談から現場の無災害と社員の健康促進にも取り組んでまいります。

我々の働きを通じて地域の方々が長期的に安全・安心して暮らせるサステナブルな町づくりに貢献できるよう、日々安全と環境に配慮した施工を目指し、本年度もエコアクション21、健康経営優良法人の認定取得、レジリエンス認証取得、岡山県BCP認証取得など外部からの検証を通じて会社のレジリエンス力を高め社員個人の健康と成長を目標に活動してまいります。

代表取締役 奥野一三

2.経営理念と環境経営方針

＜経営理念＞

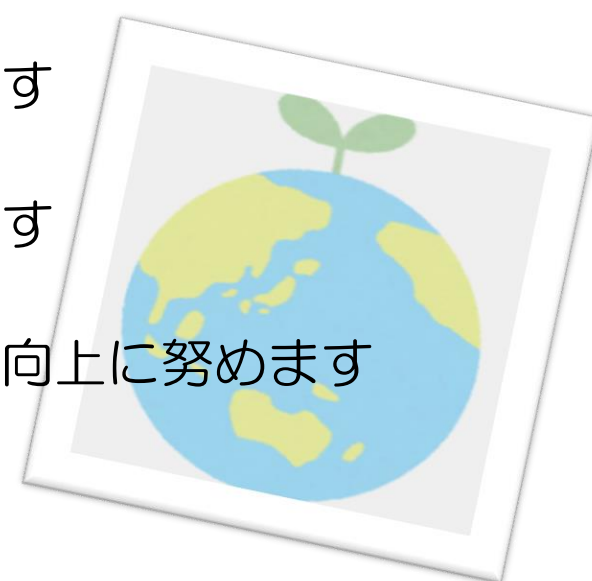
- 地域により安心・快適な環境を創造します
- 次の世代に誇れる「もの」を提供します
- いのちを大切にし、ともに幸せを目指す企業です

＜環境経営方針＞

奥野組は、経営理念をもとに環境負荷の低減と環境保全を考えた施工に積極的かつ継続的に取り組みます。また、健康経営を通じて社員の心と体の健康を大切にし、地域により安全・安心で快適な環境を創造します。社員一人ひとりが自主的にSDGsに掲げた目標に取り組み、持続可能な社会の実現を目指してまいります。

環境行動指針

1. 環境関連法規制や当社が約束したことを遵守します
2. 創意工夫により二酸化炭素排出量の削減に努めます
3. 廃棄物の発生抑制と建設副産物のリサイクル率の向上に努めます
4. 適正な水の利用により使用量の削減に努めます
5. 資料のペーパーレス化に取り組み、紙の削減に努めます
6. ICT、IoTにより生産性と環境保全を両立させる施工に取り組みます
7. 森林・緑に対する理解を深め、地域のボランティア活動への参加や地域貢献活動の推進、SDGs活動団体への協賛等に努めます
8. ハイブリッド車の導入に努めます
9. 本方針を全社員に周知徹底いたします



制定日：2016年6月30日
改定日：2022年7月1日

代表取締役

奥野 一三



3. 組織の概要

- 名称及び代表者名
株式会社 奥野組
代表取締役 奥野 一三

- 所在地
本社 岡山県岡山市北区北方一丁目1番6号
原資材置場 岡山県岡山市北区原317番1号

- 環境管理責任者及び担当者の氏名と連絡先
環境管理責任者 総務部 渡部 栞
担当者 総務部 中島 優実

TEL : 086-222-7530
FAX : 086-232-0800
E-mail : somu@okunogumi.co.jp
HP : <http://okunogumi.co.jp>

- 事業内容
総合建設業

- 事業の規模
売上高 約1,200,000(千円)(2023年度)

	本社	原資材置場	合計
従業員	16名	1名	17名
延べ床面積	401.50m ²	1,168.44m ²	1,569.94m ²

※代表取締役含む

- 環境活動期間 7月～翌年6月

4. 認証・登録の対象組織・活動

- 登録組織名 株式会社 奥野組
- 対象事業所 本社、原資材置き場
- 活動 総合建設業



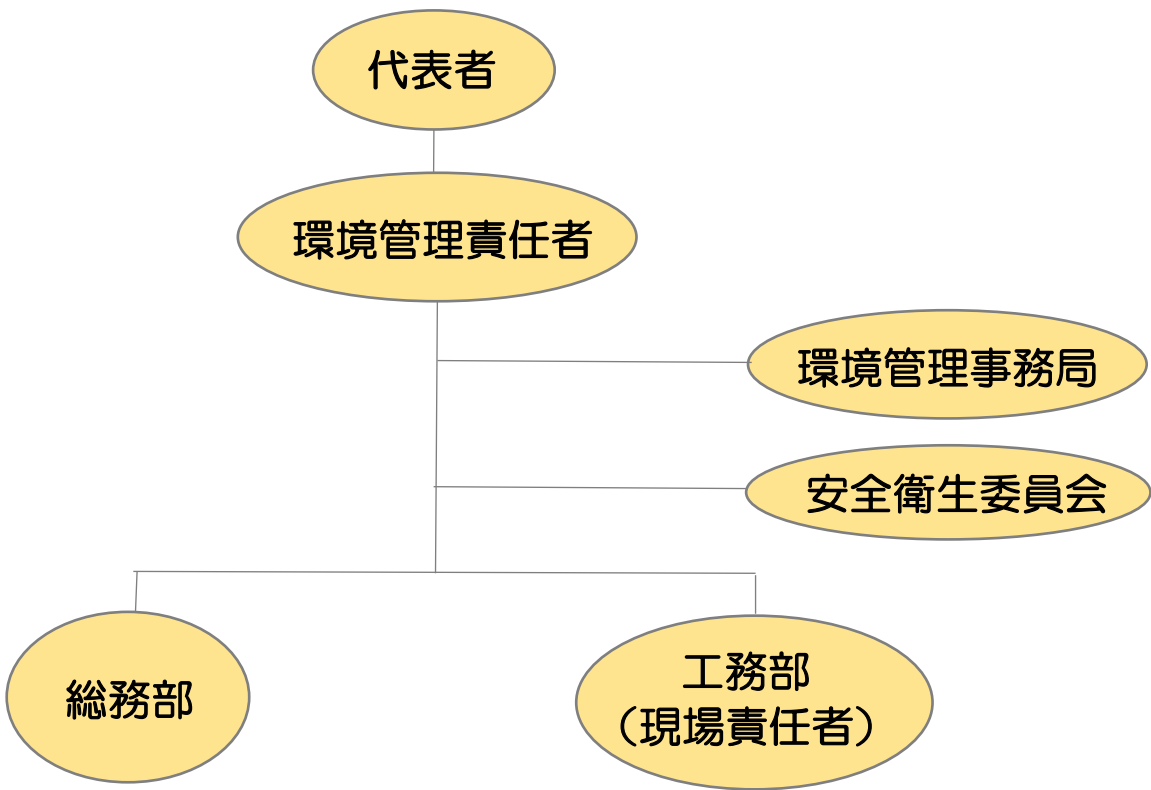
5. 事業や製品（商品）の紹介

国土交通省、岡山県、岡山市を受注先とする公共工事を主に施工しております。特に旭川、高梁川、吉井川などの維持工事、堤防工事を多く手掛けており、近年多発する河川災害発生による堤防の復旧や補強工事の施工を通して地域の安全と防災に関わっております。また生産性と環境保全を両立させるICT施工に取り組んでいます。



6. 環境経営組織図及び役割・責任・権限表

環境経営組織図



	役割・責任・権限
代表者（社長）	・環境経営に関する統括責任 ・環境経営システムの実施に必要な人、設備、費用、時間等経営資源を準備 ・環境管理責任者を任命 ・経営における課題とチャンスの明確化 ・環境経営方針の策定・見直し及び全従業員へ周知 ・環境経営目標・環境経営計画書を承認 ・代表者による全体の評価と見直し・指示を実施 ・環境経営レポートの承認
環境管理責任者	・環境経営システムの構築、実施、管理 ・環境関連法規制等の取りまとめ表を承認 ・環境経営目標・環境経営計画書を確認 ・環境関連の外部コミュニケーションの窓口 ・環境経営計画の実施結果を代表者へ報告 ・環境経営レポートの確認
環境事務局	・環境負荷の自己チェック及び環境への取組の自己チェックの実施 ・環境経営目標、環境経営計画書原案の作成 ・環境経営計画の実績集計 ・環境関連法規制等取りまとめ表の作成、遵守評価の実施 ・環境教育訓練計画の作成と実施の管理 ・環境経営レポートの作成、公開（事務所への備付けと地域事務局への送付）
総務部	・環境負荷の自己チェックシート集計のためのデータ収集 ・環境教育訓練計画の作成と実施と報告 ・社内、社外との環境コミュニケーションの実施と記録 ・環境経営レポートの作成補助、外部への公開と社員への周知
安全衛生委員会	・環境経営目標、環境経営計画案の審議 ・環境経営の実施状況の確認・評価・周知
工務部	・環境教育訓練の計画、実施と記録の作成 ・緊急事態訓練の実施、手順書の確認・見直し、記録の作成 ・自現場に関連する環境経営活動・創意工夫の実施及び達成状況の報告 ・自現場の問題点の発見、是正、予防処置の実施
全従業員	・環境経営方針の理解と環境への取り組みの重要性を自覚 ・決められたことを守り、自主的・積極的に環境活動へ参加

7. 環境経営目標（2023年度～2025年度）

項 目	単位	基準値 (2022年 度実績)	3年間の目標		
			2023年度	2024年度	2025年度
二酸化炭素排出量の削減	kg-CO ₂	50,109	49,107(△2%)	49,007(△2.2%)	48,906(△2.4%)
■電力使用量の節減	kWh	17,632	17,279(△2%)	17,244(△2.2%)	17,209(△2.4%)
■ガソリン使用量の節減	L	15,248	14,943(△2%)	14,913(△2.2%)	14,882(△2.4%)
■ハイブリッド車の導入	台	1	1台以上	1台以上	1台以上
■都市ガス使用量の節減	m ³	215.00	210.70(△2%)	210.27(△2.2%)	209.84(△2.4%)
■軽油使用量の節減	L	1,807	1,771(△2%)	1,767(△2.2%)	1,764(△2.4%)
■一般廃棄物の削減	kg	1,078	1,067(△1%)	1,067(△1%)	1,067(△1%)
■産業廃棄物の適正管理と 建設リサイクルの推進 (数値目標は参考値)	t	3,404 (2020年度の実績)	3,370 (2020年度の実績の△1%)	3,370 (2020年度の実績の△1%)	3,370 (2020年度の実績の△1%)
■建設リサイクルの推進	%	100	100	100	100
■水使用量の削減	m ³	55	54(△1%)	54(△1%)	54(△1%)
■現場の生産性向上と環 境保全を両立した施工の 実施	%	100	100	100	100

※二酸化炭素排出係数 0.545 kg-CO₂/kWh 中国電力の2022年度の調整後の係数

※負荷の実績は工事現場を含む

※ペーパーレス・紙の削減については一般廃棄物の削減への取組の一貫として

印刷物の残部がでないよう最小限に抑える。また、会議資料のパワーポイント化を進めることとする

※化学物質は使用していないため目標に設定していない

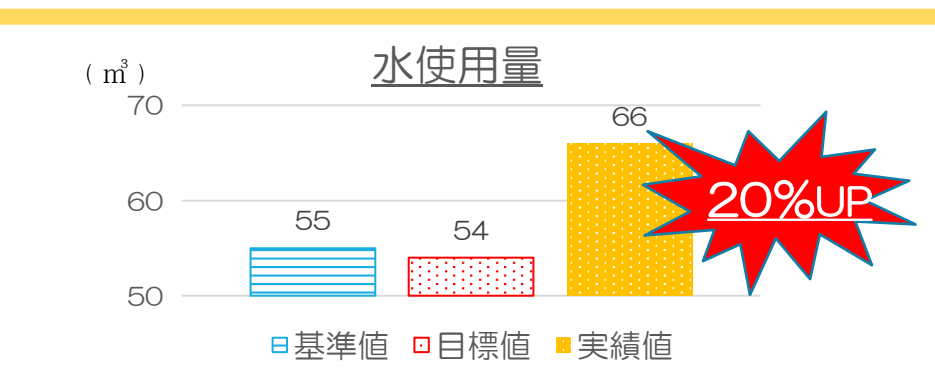
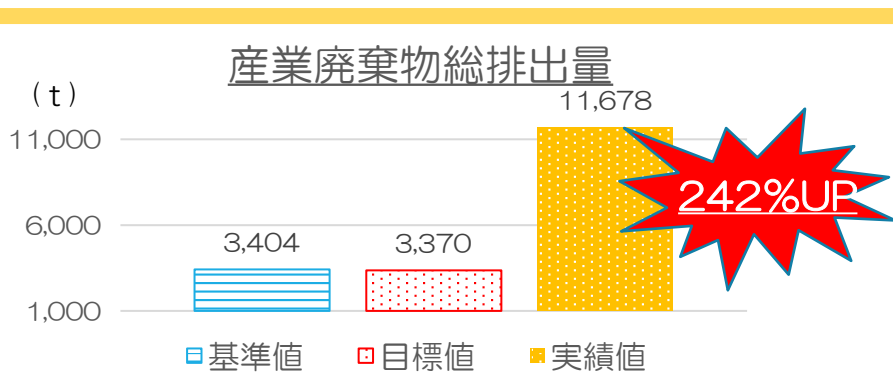
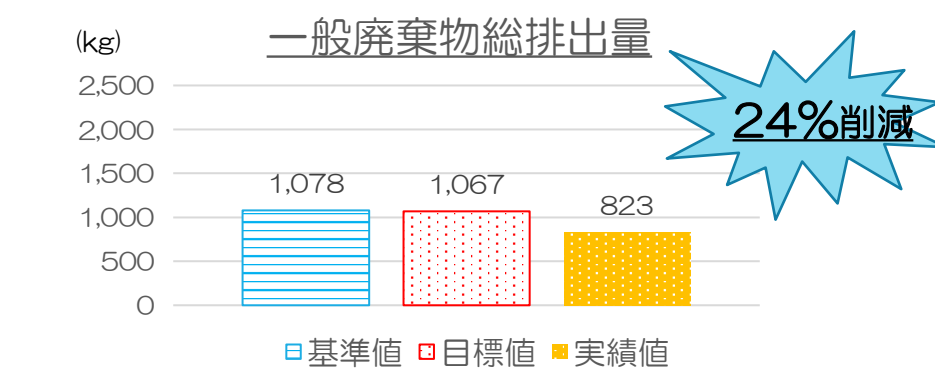
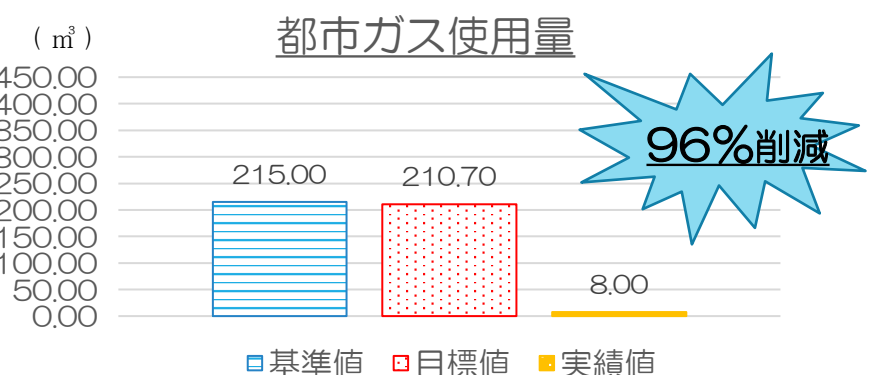
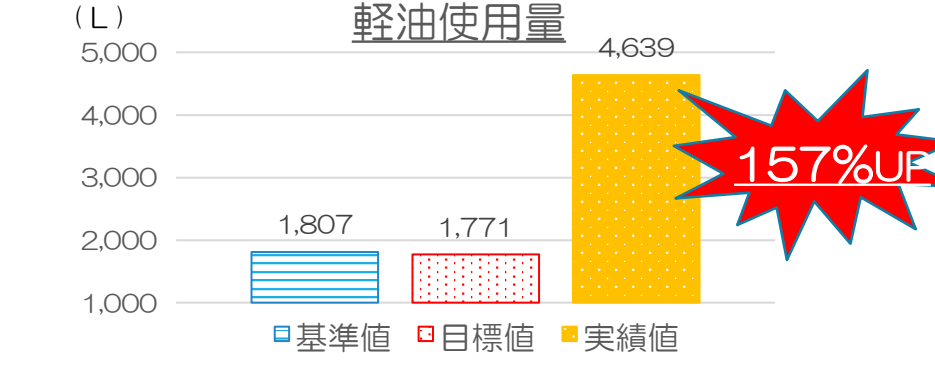
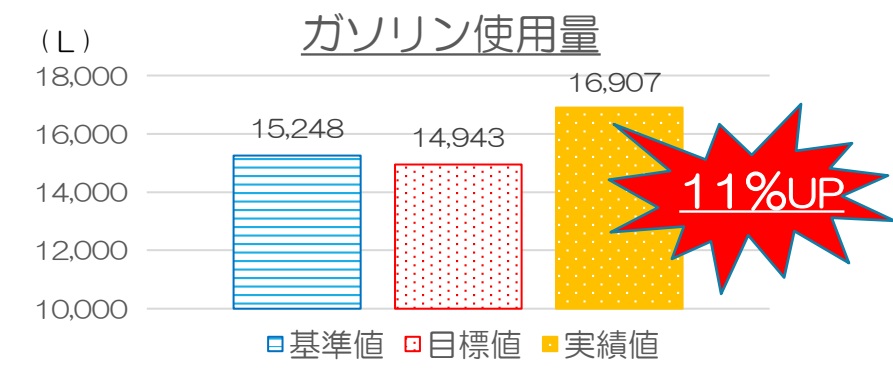
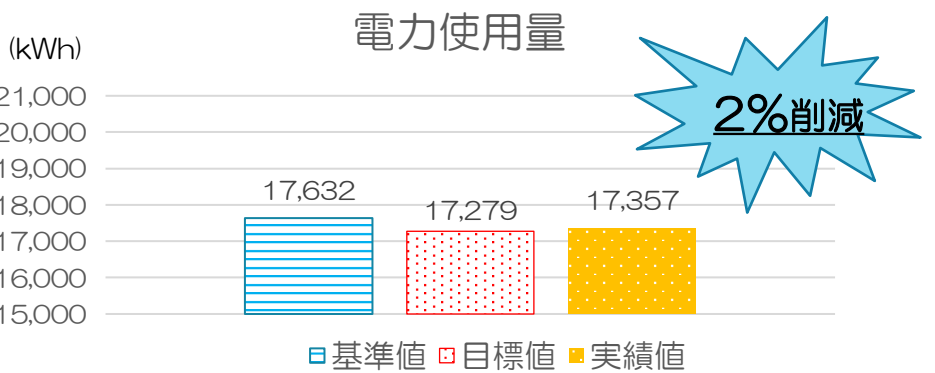
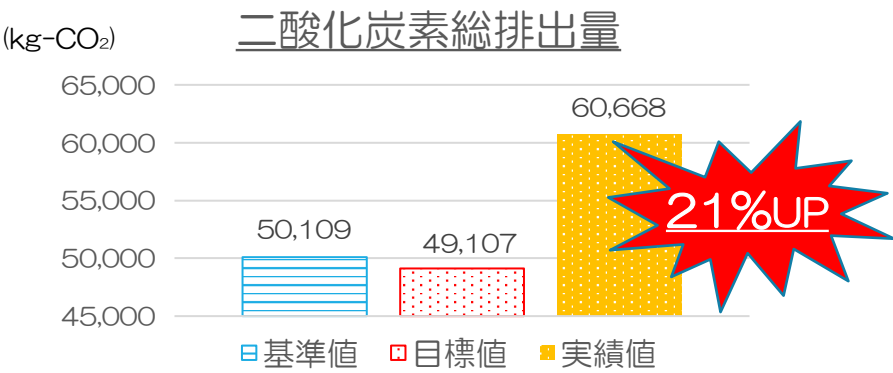
※現場の生産性向上と環境保全を両立した施工の実施の取組内容についてはP12に記載している

8. 主な環境負荷の実績（2021年度～2023年度）

項 目	単 位	2021年度	2022年度	2023年度
電力使用量	kWh	19,965	17,632	17,357
ガソリン使用量	L	20,242	15,248	16,907
軽油使用量	L	5,677	1,807	4,639
都市ガス使用量	m ³	426.00	215.00	8.00
二酸化炭素総排出量	kg-CO ₂	76,044	50,109	60,668
一般廃棄物排出量	kg	1,573	1,078	823
産業廃棄物排出量	t	3,184	789	11,678
水使用量	m ³	61	55	66

9. 環境経営目標及びその実績

項 目	単位	基準値	2023年度		目標達成 評価
	基準年比	(基準年)	(目標)	(実績)	
電力使用量の節減	kWh	17,632	17,279	17,357	×
	基準年度比	2022年度	(△2%)	(△1.6%)	
ガソリン使用量の節減	L	15,248	14,943	16,907	×
	基準年度比	2022年度	(△2%)	(+10.9)	
軽油使用量の節減	L	1,807	1,771	4,639	×
	基準年度比	2022年度	(△2%)	(+156.7%)	
都市ガス使用量の節減	m ³	215.00	210.70	8.00	○
	基準年度比	2022年度	(△2%)	(△96.3%)	
二酸化炭素総排出量の削減	kg-CO ₂	50,109	49,107	60,668	×
	基準年度比	2022年度	(△2%)	(+21.1%)	
一般廃棄物の削減	kg	1,078	1,067	823	○
	基準年度比	2022年度	(△1%)	(△23.7%)	
産業廃棄物の適正管理と 建設リサイクルの推進 (数値目標は参考とする)	t	3,404	3,370	11,678	×
	基準年度比	2020年度	(△1%)	(+241.6%)	
建設リサイクルの推進	%	100	100	100	○
	基準年度比	2022年度	—	—	
水使用量の削減	m ³	55	54	66	×
	基準年度比	2022年度	△1%	(+20.0%)	
現場の生産性向上と環境保 全を両立した施工の実施	%	100	100	100	○
	基準年度比	2022年度	—	—	



10. 環境経営計画の取組結果とその評価、並びに次年度の取組

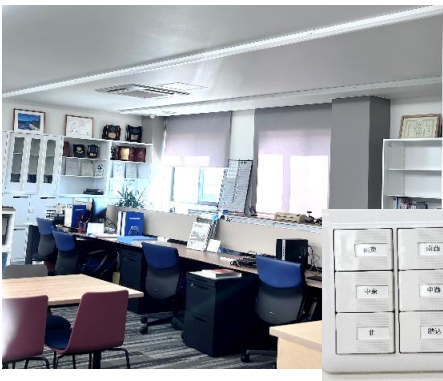
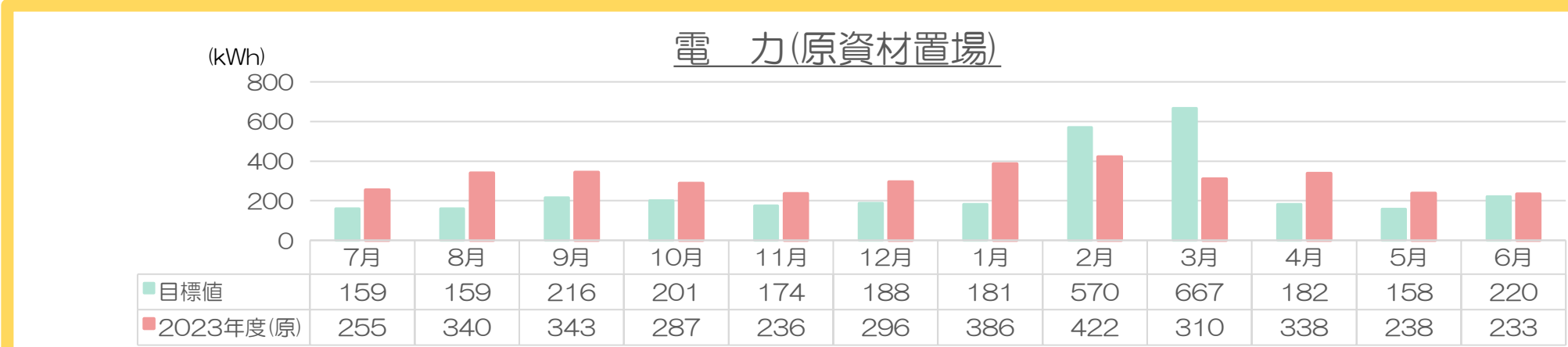
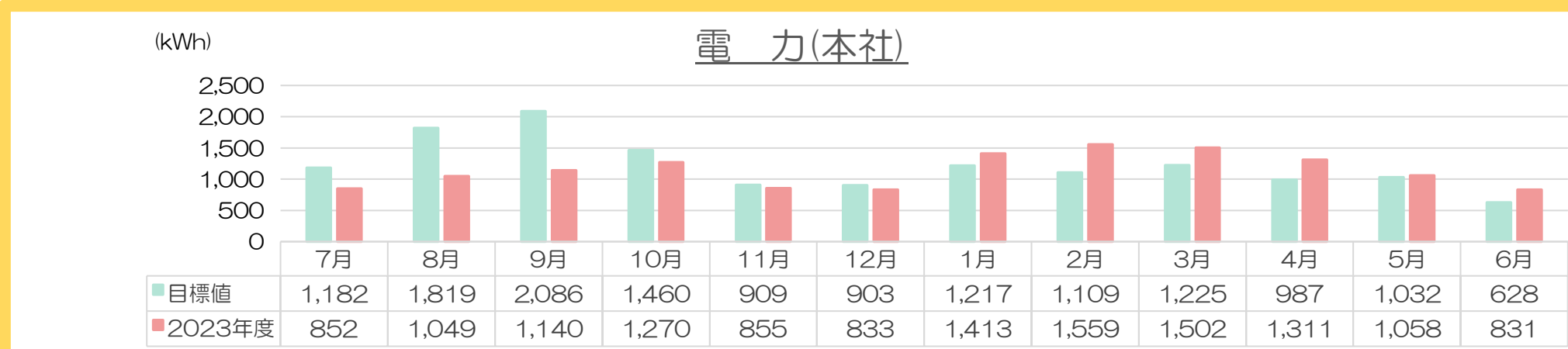
評価方法

数値目標：○達成 ×未達成
活動：◎よくできた ○まあまあできた △あまりできなかった ×全くできなかった



電力使用量の節減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
目標：17,279kWh 実績：17,357kWh (原資材置場を含む)	×	目標をほんのわずか達成することができなかった。グラフを見ると、本社は冬場の電力使用量が目標よりも増え、原資材置場は夏場に目標よりも電力使用量が増えてしまった。本社では不要照明の消灯は多くの社員が意識しており、こまめに消灯していた。なお、空調温度も適正になるよう調整をし、服装で調節したり、冬はひざ掛けなどを準備したり、社員一人ひとりが意識をして行動していた。 新社屋は断熱性能が高く、冬場はガスストーブを使用せずエアコンのみを稼働させていたため、冬場の使用量が増えたと考えられる。資材置き場はプレハブで温度調節が難しいので、今後節電方法を検討していきたい。新社屋になり1年間の結果を取ることができたので、次年度からは今年度の電力使用量が基準となる。さらに節電に努めていきたい。
空調温度の適正化 (冷房28℃、暖房20℃を目安)	○	
昼休憩時や窓際の不要照明の消灯	◎	
空調機のフィルターの定期的な清掃・点検	○	
クールビズ・ウォームビズの徹底	○	
LED電気の導入検討	◎	

※新社屋は2023年5月より使用開始している



不要な電気は
こまめに消す

社員の不在時には
不要な電気を
消しています。

おかやまCOOL CHOICE!宣言に賛同

事務所の出入り口には温度管理のポスターを貼り、従業員だけでなくお客様にも見えるようにし、活動を行っています。



クールビズ、ウォームビズへの取組
“快適に過ごせる服装”で出社しています。

COOLBIZ

WARMBIZ

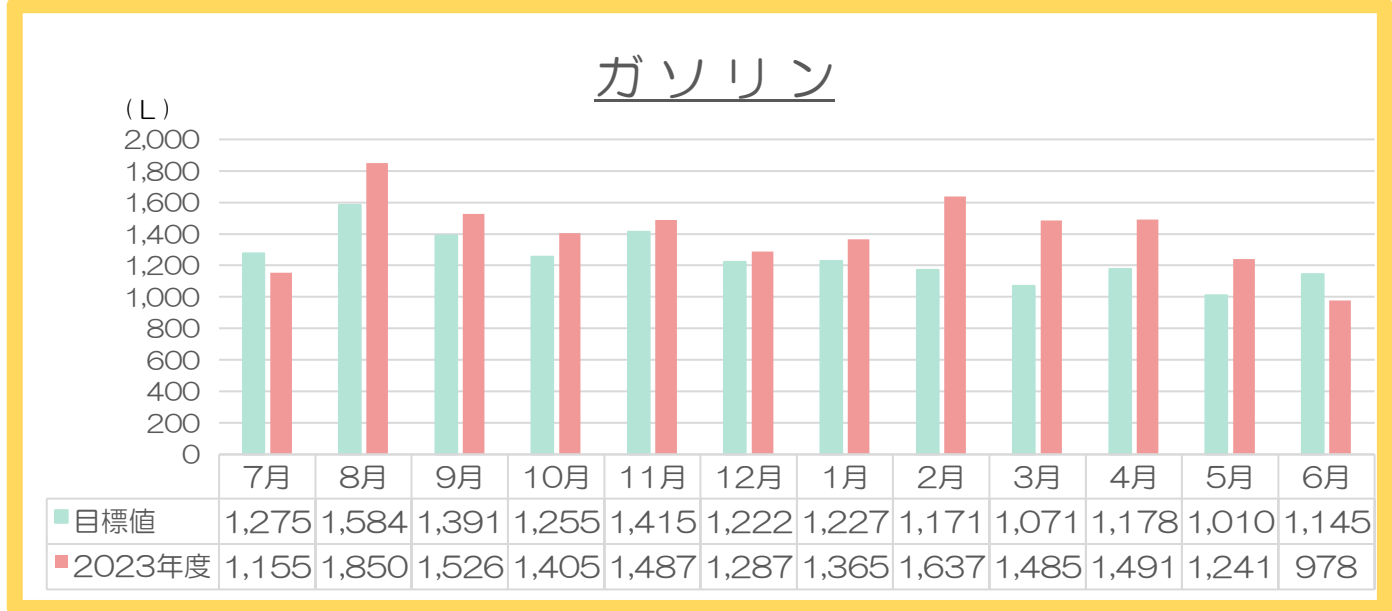


温度、湿度管理ができる
時計を使用

事務所内の温度湿度管理に
努めています。



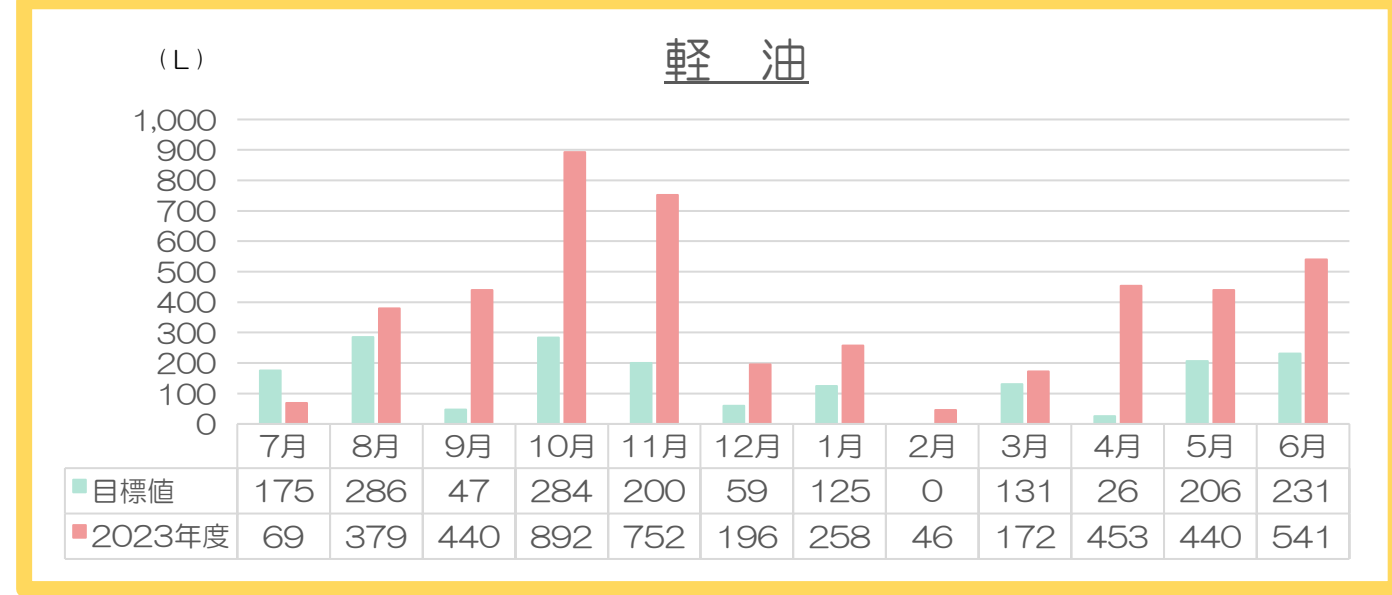
■ガソリン使用量と 軽油使用量の節減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
ガソリン使用量 目標：14,943L 実績：16,907L	×	ガソリン使用量、軽油使用量ともに目標を達成することができなかった。今年度の建設現場は遠方の地域が多かったことや人材不足により、乗り合わせ等も難しい場面が多々あった。また、リース車の始業前自主点検や燃費の把握は習慣化されており、エコドライブの継続に繋がる活動ができている。 今年度も全体会議にてエコドライブに関する資料の配布やガソリン代が安い施設等を周知した。遠方の現場が増えたが、今年度の売上高は例年より高く、使用量は増えたものの売上高に対する使用量は、基準年とさほど変わらない。会社全体で移動ルートの効率化や燃費向上に向けて取り組むことができたと評価する。 ハイブリッド車は2021年度に2台導入して以来、新規導入には至っていない。次年度にはハイブリッド車の導入を予定している。リース車も古いものが増えてきたので、ハイブリッド車への切り替えを順次検討する。
エコドライブ実施の継続	◎	
リース車の始業前自主点検の実施	◎	
社用車使用時の乗り合わせの励行	×	
移動ルートの効率化と燃費把握の習慣化	○	
リース車の定期的な台数見直しと 定期点検の実施	◎	
ハイブリッド車の導入(1台/年以上)	×	
軽油使用量 目標：1,771L 実績：4,639L	×	
エコドライブ実施の継続	◎	
燃料消費の少ない建設機械を選定	◎	
排出車両における過積載の監視	○	



自動車始業点検表

当社独自の「自動車始業点検表」を作成しており、リース車に乗る前に項目に沿って週に1回点検を行っています。

アルコールチェックや走行距離、給油量、燃費も算出しエコドライブの継続に繋げています。



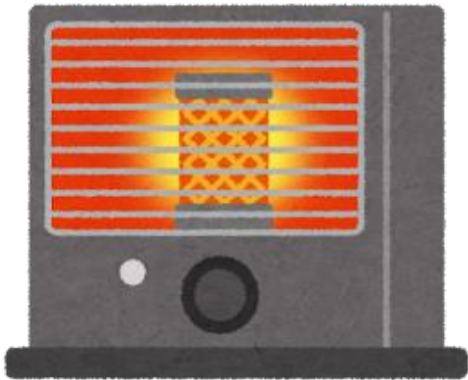
ハイブリッド車導入台数累計

2021年度
2022年度
2023年度

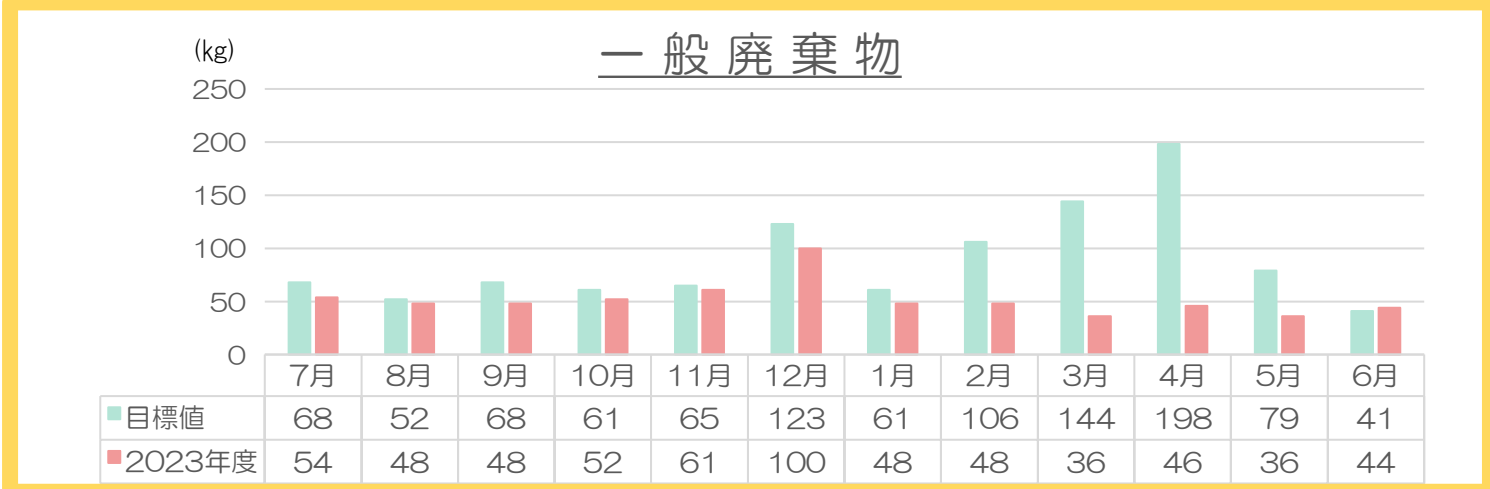
ハイブリッド車の導入

今年度はハイブリッド車の新規導入はありませんでした。現在13台中、5台(全体の約4割)がハイブリッド車です。次年度には新たにハイブリッド車を導入する予定です。

都市ガス使用量の削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度取組内容
目標：210.70m ³ 実績：8.00m ³	◎	新社屋は断熱性に優れており、ガスストーブのリース台数を今年度も1台にした。2階事務所では、ガスストーブを使用せずエアコンのみを使用した。ひざ掛けを持参する等、ガスの使用量削減に向けて社員一人ひとりが取り組んだ。来客があったときのみガスストーブを使用したことで、都市ガス使用量はもちろん、大幅な二酸化炭素削減にも繋がった。次年度もこの活動を継続して行う。
ガスストーブの使用量の削減	◎	



一般廃棄物の削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度取組内容
目標：1,067kg 実績： 823kg	○	目標を達成することができた。今年度は前年度に引き続きラベルレスのお茶を購入した。ゴミの分別・リサイクルの徹底やマイコップ、マイボトルを持参し、一般廃棄物の削減につなげている。文具備品は再利用をしており、事務所にある共有文具コーナーには、再利用ファイル置き場を作っている。 次年度は限られた資源を大切にするためにも、買いすぎ・使いすぎの無駄をなくせるよう、事務所の備品管理表を作成する。適切な購入量を把握することで資源を守り、コストダウンに繋げる。
分別・リサイクルの徹底	◎	
文書類の電子保存化	○	
マイコップ・マイボトルを持参	◎	
文具・備品の再利用と適正な購入量の把握	◎	



ゴミの分別の徹底

今年度から新たにプラスチックも分別しています。

マイコップ・マイボトルを持参

新しい取組として社員へマイコップ、マイボトルの呼びかけをしました。ペットボトルゴミの削減に繋がっています。

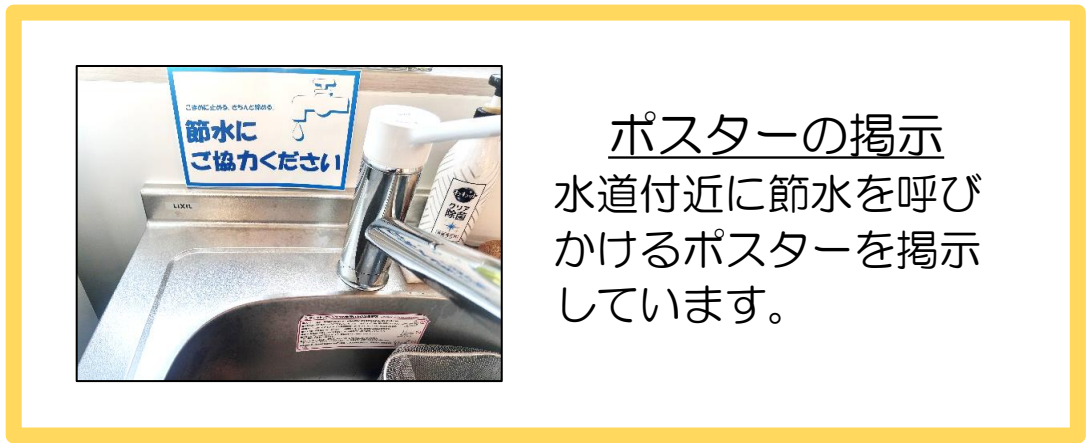
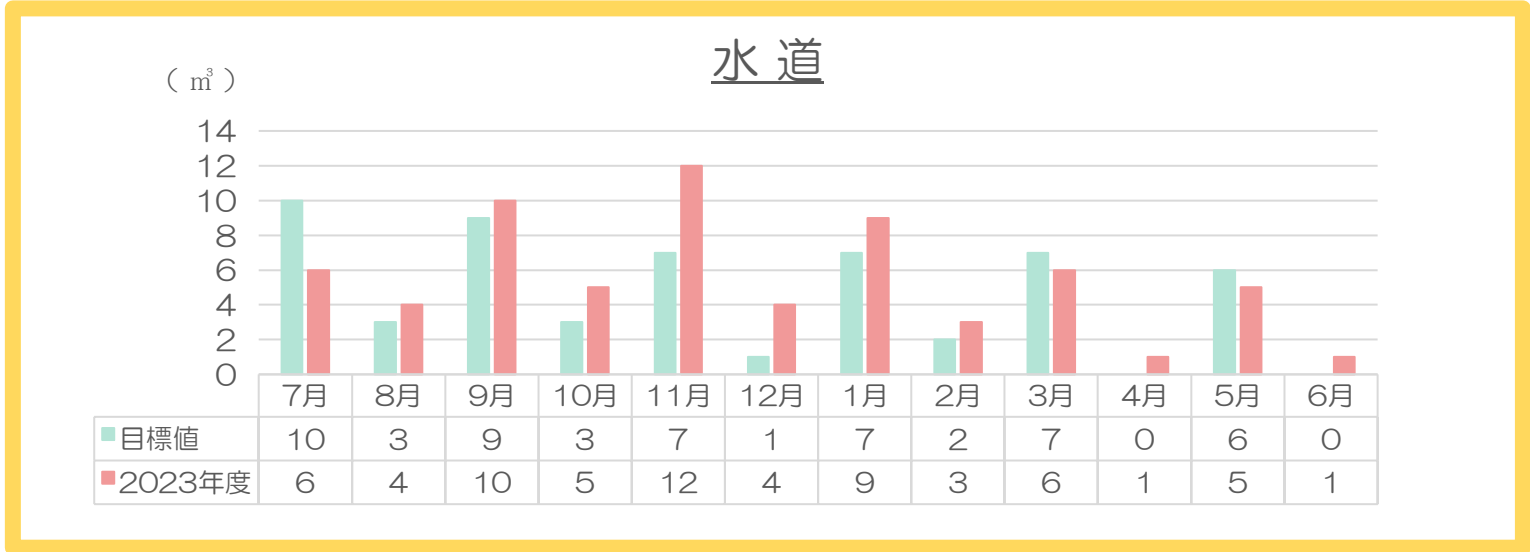
ラベルレスのお茶を購入

前年度に引き続きラベルレスのお茶を購入しています。ラベルを捨てる手間を省くことができ尚且つ、資源を守る活動に繋がっているので今後も継続します。

■産業廃棄物の適正管理と建設リサイクルの推進	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
産業廃棄物（数値目標は参考とする） 目標：3,370 t 実績：11,678t	○	建設業は建設現場によって産業廃棄物の排出量が変わるため削減をするのは難しいことである。そのため、再資源化に重点を置き活動を進めている。産業廃棄物の処理については、業者に委託して行っているため優良認定処理業者の選択や混合廃棄物の処理能力が高い業者に委託し、再資源化率100%を目標に活動した。今年度は現場数が少なかったこともあり、参考とする目標値を大幅に下回り達成することができた。 現場では可能な限り、※注1 再生資材を購入するように努めている。また、ICT施工により資材ロスを低減し、生産性の向上、品質の確保を図っている。次年度も引き続き左記活動を継続する。
建設リサイクルの推進 目標：100% 実績：100%	○	
建設副産物の分別によるリサイクルの推進	◎	
資材の再利用の推進	○	
施工方法や作業方法の見直し、廃棄物の発生量抑制の取組	○	
資材ロスの低減	◎	
混合廃棄物のリユース・リサイクル	◎	

※注1 再生資材は砕石RC-40・JIS規格製品 U型側溝等がある

■水使用量の削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
目標：54㎥ 実績：66㎥	○	目標を達成することができなかった。基準年よりも使用量が増えてしまった。夏場に猛暑日が続き花壇の水やりの頻度が昨年度より増え、暑さ対策のために駐車場のアスファルトに水を撒くことが多かった。また、河川工事の粉じん対策で散水をしており、工事現場での水の使用量も増加したと考えられる。引き続き蛇口をシャワー型にしたり、散水ホースにノズルを付けて余分な水分を使わないようにしたり節水の工夫をする。次年度は新たな削減方法を考える。
節水の啓発ポスターの掲示	◎	
水はこまめに止める。きちんと締めるを意識する	◎	
蛇口をシャワー型にして水量を減らす工夫	◎	
洗車は汚れを落としてから行う	◎	
散水ホースにはノズルをつける	◎	



■現場の生産性向上と環境保全を両立した施工の実施	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
目標：100%(全現場取り組む) 実績：100%	○	今年度も排出ガス対策型低騒音・低振動型建設機械を使用して、地域住民の生活環境を保全しながら施工した。外来種の繁殖抑制や防音シートを使用して騒音対策を行い、搬入資材は環境負荷の少ないRC製品を使用した。現場でも様々な環境に配慮した施工をしている。建設廃棄物の再資源化率は100%を目標にし、現場で使用する資材は再資源化された製品をできる限り使用する取り組みも行っている。 今年度は積極的に地域の清掃活動に参加したり、地域貢献活動を行ったりした。地域へ貢献する活動は地域の方々とコミュニケーションをとるきっかけになるので、引き続き積極的に参加する。クレームも特になかった。次年度も環境・地域に配慮した施工と活動をする。
低騒音・低振動・排出ガス対策型の建設機械を全現場使用する	◎	
建設廃棄物の再資源化の推進	◎	
防音シートで騒音対策	◎	
環境負荷の少ない資材の調達	◎	
全現場ICT施工を取り入れる	◎	
地域ボランティア活動等で地域に貢献する	◎	



排出ガス対策型 低騒音・低振動型の建設機械を導入

排出ガス・騒音・振動がしにくい建設機械を現場に導入することで、住民の生活環境を保全しています。

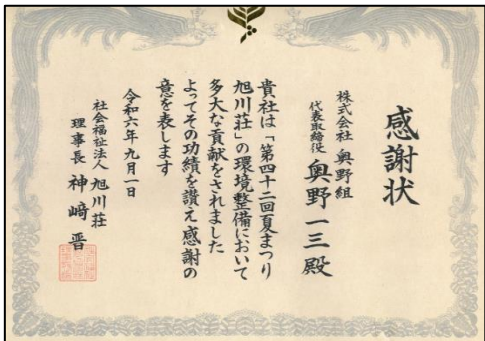
アユ産卵場造成に協力

「天然アユ資源拡大に向けてのアユ産卵場造成」を行いたいが、「人力だけでは効果的な造成が出来ない」との相談を受け、奥野組所有の重機でアユ産卵場の造成を行いました。旭川南部漁業協同組は平成3年度のアユ産卵場造成プロジェクトで（農林水産大臣賞を受賞）アユ産卵成果が向上したことにより、今年度も引き続き協力しました。



無償で除草作業を行った

社会福祉法人旭川荘の花火大会開催につき、職員の方々が大変な思いをしながら、炎天下の中で除草作業をしていたと聞き、無償で花火打上げ箇所の高水敷除草作業を行いました。理事長より感謝状と御礼の言葉をいただきました。



旭川一斉清掃へ参加

旭川周辺で行われた「旭川一斉清掃」（岡山商工会議所主催）に参加しました。ペットボトル、空き缶、たばこの吸い殻等、様々なゴミを収集しました。担当したエリアの堤防天端道路は岡山マラソンのコースであり、当日に参加者ランナーの方に気持ちよく走って頂くためにも道路沿いのゴミ回収は特に入念に行いましたきれいになった旭川 を今後も維持できるように活動が続けたいと思います。



11. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び 評価の結果、並びに違反、訴訟の有無

環境関連法規遵守については、当社に適用される環境関連法規及び条例の一覧を作成し年1回遵守状況を確認し必要に応じ変更・改善指導を行っております。
本年度、自社で遵守状況を確認した結果、違反・訴訟はありません。
また関係当局より違反などの指摘は過去3年間ありません。

■当社に該当する主な環境関連法規/条例

適用される法規制	適用される事項	遵守状況
廃棄物処理法	委託基準・保管基準・マニフェスト交付 多量排出事業者の報告・産業廃棄物管理票交付等状況報告書等の提出	○
資源有効利用 促進法	特定再利用業種、指定副産物等の基準に適合した措置	○
建設リサイクル法	分別解体等及び再資源化等の実施義務 発注者への再資源化等完了報告と記録の保存 特定建設資材と指定建設資材廃棄物の再生資源利用実施書	○
建設機械に 関する規程	排出ガス対策型建設機械の普及促進に関する規程 低騒音型・低振動型建設機械の指定に関する規程	○
家電リサイクル法	家電4品目（エアコン・テレビ・冷蔵庫・洗濯機） 処理費用の支払い	○
排出ガス対策型建設機 械の普及促進に関する 規程	対象事業が公共工事の場合で自社の建設機械を使用する場合は 排出ガス対策型建設機械を使用する	○
低騒音型・低振動型建 設機械の指定に関する 規程	対象事業が公共工事の場合で自社の建設機械を使用する場合は 低騒音建設機械の選定(国土交通省に指定されているもの)	○
フロン排出抑制法	フロン類使用の定期点検・記録・同保存・漏えい防止等 適切場所設置 未修理充填禁止	○
消防法 (危険物のみ)	消防設備・消防訓練の実施	○
騒音規制法	特定施設の事前届出・地域別騒音基準の順守・規制基準の順守	○
振動規制法	特定施設の事前届出・特定建設作業の事前届出・規制基準の順守 地域別振動基準の順守	○
水質汚濁防止法	油及び有害物質の流出事故時の措置と届出・有害物質の使用特定施設 貯蔵指定施設の構造基準の順守・排出基準の順守	○

フロン排出抑制法により
建設重機のエアコン点検を3ヶ月に
一度実施しています



12. 緊急事態対応訓練の実施

緊急事態の想定：現場での火災発生	
■実施日：2024/4/1	■実施場所：原資材置場
■参加者：5名(工務部・営業部)	■実施内容： 通報訓練、消火訓練、避難訓練
■使用する手順書：火災対応手順書	■訓練の有効性： ☒ あり ☐ なし
■手順書の変更の必要性： ☐ あり ☒ なし	
■評価： 通報・連絡の経路を確認し、初動対応の重要性を共有できた。人命優先で避難経路を確保したうえで、トラックや油圧ショベル等の移動手段・手順を決定し、周知した。	
■実施状況の様子	
	
火災訓練座学	火災訓練

緊急事態の想定：堤防流水時	
■実施日 2024/6/5	■実施場所：旭川河川敷
■参加者 奥野組 10名 協力会社 3名	■実施内容： ①堤防流水時の排水ポンプ車訓練 ②河川災害パトロール訓練
■使用する手順書：排水ポンプ車訓練実施手順書	■訓練の有効性： ☒ あり ☐ なし
■手順書の変更の必要性： ☐ あり ☒ なし	
■評価： ①堤防流水時の排水ポンプ車訓練は毎年行っているので、手順を理解した者が新人に指導する形で行った結果、新人も手順を理解していた。 ②タブレットを使って位置情報と危険箇所を報告するための操作手順と報告方法を覚えた。	
■実施状況の様子	
	
①堤防流水時の排水ポンプ車訓練	②河川災害パトロール訓練

13. 代表者による全体の評価と見直し・指示

実施日：2024年9月20日

当社は建設会社で、河川や道路などの公共インフラを施工・整備する企業なので、現場での自然環境に対する負荷は大きく、使用する材料（セメント・鋼材）の使用料、莫大なエネルギーを使う重機の使用を行います。現状を把握し、いかにして効率よく顧客や社会から求められるニーズに、高い品質で応えられる企業になれるよう環境保全の側面から取り組んでいきたいと思います。

SDGs（持続可能な開発目標）について日本でも盛んに活動が活発化するようになりました。現状の施工での対応だけでなく、ライフサイクルコストを意識し、負の遺産を残さない建設ができるよう研究し、会社全体で取り組んでいきたいと思います。

代表取締役 奥野一三

■環境経営方針 □変更あり ☒変更なし

■環境経営目標・計画 □変更あり ☒変更なし

■実施体制 □変更あり ☒変更なし

14. 今年度の奥野組の取り組みと紹介

SDGs  私たちは、持続可能な開発目標（SDGs）を支援しています。SDGsで掲げられた17の目標に取り組めます。	トモニン  働き続けながら介護する社員を応援します！ 仕事と介護を両立する社員を応援します。社内リーフレットの配布、必要に応じて介護休暇や介護休業等の研修を行っています。	健活企業  健活企業 従業員の健康を第一に考え、長く健康に過ごすことができるよう、経営者が従業員への健康づくり活動を積極的に行う企業です。
おかやま子育て応援宣言企業  おかやま子育て応援宣言企業 子育てする社員を応援します！男女ともに育児休業、育児休暇や看護休暇が取りやすい環境を整備しています。	タニザワエコアプローチ参加  TANIZAWA ECO APPROACH タニザワ エコアプローチ 産業用ヘルメットのトップメーカー タニザワだから、できる“エコロギ” 使用済み保護帽を回収する際に地球上のCO2排出削減と、限りある資源の有効活用につながる取り組みです。	2023年度 工事成績優秀企業認定  2023年度 優 国土交通省 国土交通省 中国地方整備局長より、2023年度 工事成績優秀企業に認定されました。

第74回全国植樹祭 感謝状贈呈式(2023年1月23日) 式典へ参加(2024年5月26日)



令和6年5月26日に行われた「第74回全国植樹祭 岡山2024」へ協賛しました。伊原木知事より感謝状をいただきました。岡山で植樹祭が行われるのは、57年ぶりで2回目の開催です。建設業者としてみどりの大切さを知り、伝えなければならないと私どもも日々思っており、今回植樹祭に参加することができ、大変嬉しく思っております。多くの方がみどりの大切さに改めて気づき、そして心に残る植樹祭になったことと思います。



柳井原排水機場完成お披露目・記念植樹(2023年7月12日) 柳井原地区道路完成記念イベント(2023年12月23日)

令和5年3月末に完成した「令和3年度小田川付替柳井原地区第2築堤他工事」の完成お披露目・記念植樹を柳井原小学校の全校生徒46名を招いて行いました。ドローンによる現場見学や排水機場及び操作室の見学を行い、どんぐりの苗木とアラカシの苗木を植樹しました。

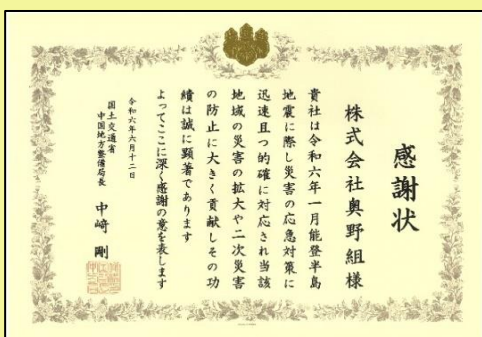
2023年12月には柳井原地区道路完成記念イベントに参加しました。多くの地域住民の方々が足を運んでくださり、展示していたドローンや排水機場の説明パネルに興味をもってくださり、賑わいました。地域の方々と交流する機会を大切に今後も活動をつづけてまいります。



能登半島地震災害対応 感謝状(2024年6月12日)

2024年1月に発生した能登半島地震で国土交通省で使用する待機支援車の現地への回送、設置や現地での待機支援車の給油、移動を行いました。現地からの帰還に伴う撤収、回送が主な活動でした。

2024年6月12日に行われた災害対策関係功労者 感謝状贈呈式において、国土交通省中国地方整備局長より感謝状をいただきました。今後も地域社会の安全・安心のために尽力して参ります。



未来につなぐ！エコプロジェクト (2024年3月10日)

テレビせとうちの「未来につなぐ！エコプロジェクト」に協賛しています。

海や里山の環境保全活動をとおして「多くの方に緑の大切や海の豊かさを守る活動について知って体験してもらいたい」という想いで活動に賛同しています。未来の子どもたちに自然豊かな岡山を残すことができるよう願って今後もこのような活動に協賛してまいります。





岡山市SDGs推進パートナーズ

岡山市SDGs推進パートナーズへ登録しました。わが社が参加したデザインゴールズ・プロジェクトの活動と建設業へ興味を持つ人が増えるきっかけとなればと思い登録しました。

SDGsの活動をとおして地域経済の活性化や社会の課題解決に向けて役立てるよう引き続き活動をし、その活動を広く知ってもらえるように今後も働きかけてまいります。

おかやまプラスチック 3R宣言事業所登録



わが社は、プラスチック3R（排出抑制、再使用、再生利用）を宣言する事業所として登録しています。
従業員やお客様のプラスチックごみは洗浄、分別を行うのはもちろんのこと不要なプラスチックを購入することも控えています。



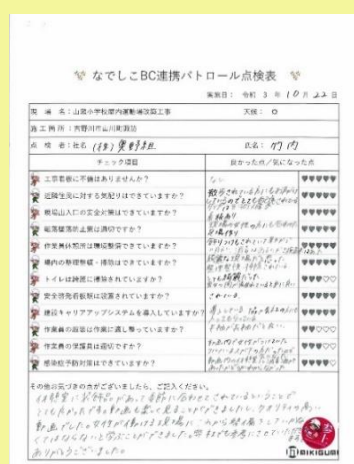
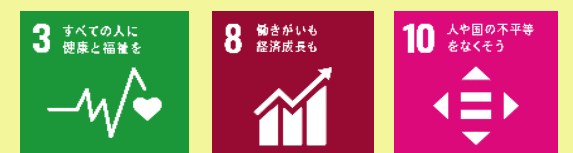
岡山県BCP認定取得



岡山県BCP認定は最高ランクの星三つ★★★に認定されています。
わが社は社員、家族の安全を確保します。
そして地域の安全確保とライフラインの早期復旧に取り組み、日頃から行っている安全への取組や教育・訓練が緊急時に生かせるよう事業継続計画(BCP)に今後も取り組みます。
環境変化に対して強靱で、地元扎根した企業を目指します。

健康経営優良法人2024

今年度も健康経営優良法人として認定されました。
50人未満の企業ではありますがメンタルヘルスのサポートを目的にストレスチェックを実施しました。
高ストレス者と判断された社員は0人でした。
今後も心と身体を健康をサポートし、社員も会社もともに幸せを目指す企業として活動を続けてまいります。



なでしこBC連携

徳島県の建設企業が中心となって発足した「なでしこBC連携」は、現在徳島県12社、岡山県2社、和歌山県2社、高知県2社の計18社が参加しています。女性の活躍促進の場でもあり、定期的になでしこBC連携パトロールや災害支援合同訓練、掲示板での連絡訓練等を行っています。参加企業のみならず日頃から連携を図っておくことで、いざという時に助け合える体制を構築しています。